

諫早市まちづくり総合戦略推進会議の意見と素案の関係部分
 (第2期諫早市まち・ひと・しごと創生総合戦略(素案))

基本目標	No.	委員の意見 (要旨)	素案の関係部分
1 魅力あるしごとをつくる	1	骨子案の施策の大項目イの①「地場産品の普及促進」について、「地場産品の売上額」というKPIを設定されているが、民間企業の場合、利益が発生しないと事業が継続できないということを自治体も参考にして、「地場産品の売上額」の場合、「営業利益〇%」というようなサブ目標を設定しても良いのではないか。	4 ページ 市内企業の地場産品の「営業利益」を把握することは難しいものと考えており、研究課題とさせていただきたいと思えます。「地場産品の売上額」については、諫早観光物産コンベンション協会が実施している地場産品の普及促進事業であるPRイベント等での売上額を指標としており、指標の表現をわかりやすく修正します。
	2	各階層へ諫早市が目指す方向性などを具体的かつ簡略に学習教育の機会を増やすことで市民の参加意識、問題意識を高める。それは協力、至交につながるのではないか。(認識の共有)	まちづくり懇談会や自治会長との懇談会における市政に関する説明、市内の県立高校生に対し地方創生の取組に関する講演を行うなど、地域の担い手や若者との交流の機会を設けながら、本市の現状や取組について共有を図っており、今後もこのような機会を設けながら市民との協同でまちづくりや地域活性化の取組を推進していきたいと考えております。
	3	旧町で商店の閉鎖が多い。この原因は品不足、鮮度、価格など市内、雲仙市など大型店舗での買い物で済ませているため、地元での買い物が少ないことから、地域商店を危機に追いやり店じまいをしているのではないか。 買い物難民の地区が増加していく中、具体的対策手法がないのか、地域へ最低限の買い物場所の誘致、地元商店での買い物促進をする。	買い物難民問題は、交通弱者問題と併せて検討すべきと考えていますが、具体的対応策はない状況です。民間サービスの活用と併せて連携した取り組み等できないか、研究課題とさせていただきたいと思えます。
2 新しいひとの流れをつくる	1	骨子案の施策の大項目アの①「移住の促進と相談体制の強化」について、KPIである移住件数の目標値は50件となっているが、過去2年間は実績が伸びており、年10件を超えているので、目標をもっと高く掲げてほしいような気がする。	11 ページ 実績を踏まえ「5年間で50件」を「5年間で80件」に修正します。
	2	骨子案の施策の大項目イの①「成長分野の企業や本社機能の立地の促進」について、内容は雇用の拡大のための誘致活動と思われるので、「基本目標1 魅力あるしごとをつくる」への整理がわかりやすいのではないか。	7 ページ ご指摘を踏まえ、基本目標1「魅力あるしごとをつくる」に整理します。

基本 目標	No.	委員の意見 (要旨)	素案の関係部分	
2 新しいひとの流れをつくる	3	学生とともに近隣の小学校とサッカー教室、eスポーツ、学習支援を行っており、学生が喜んで対応してくれたことに非常に驚いた。小中高大の連携により子育て支援を行っていくことになれば、学生は喜び、教員と学生の距離が縮まり、保護者も関わってくるようになる。	12ページ 大項目イの①「協定締結2大学との地域連携促進」において、大学の地域参画がわかりやすい記載内容にしたいと思います。 なお、長崎ウエスレヤン大学との連携事業の一環として、小学生の宿泊学習において学生との交流活動を実施しております。	
	4	骨子案の施策の大項目力の①「諫早市シティプロモーション戦略の推進」について、「市ホームページへのアクセス数」と「本市フェイスブックへの「いいね」数」のKPIでは、新幹線開業イベント等の実施の効果を測ることは難しいと思う。	15ページ 大項目力の①「諫早市シティプロモーション戦略の推進」において、新幹線開業イベント等の実施の効果を測る指標として、新たに「延べ宿泊者数」を追加します。	
	5	骨子案の施策の大項目力「本市の魅力発信の強化」と大項目キ「多様な視点をもったひとの活用」は同じ施策の中で整理した方が良くと思う。	14ページ 大項目力「本市の魅力発信の強化」において、地域外の視点を取り入れながら市の魅力を発信していくことを盛り込むこととします。	
	3 の結婚希望・出産・子育て	1	骨子案の施策の大項目アの「結婚を望む男女への支援」について、結婚を望まない人に対し、結婚してもらえるような取組を行ってもいいのではないかと思います。	17ページ 施策の大項目ア「結婚を望む男女への支援」について、表現を「結婚につながる場の創出と新婚生活支援」に修正します。
		2	骨子案の施策の大項目アの①「結婚につながる出会いの場の創出と新婚生活への支援」について、長崎県婚活サポートセンターでは10月から新システム「WizCon」がスタートするので、この制度を踏まえたものにしてはどうか。	17ページ 「長崎県婚活サポートセンターが運営する「お見合いシステム」や「WizCon」により、さまざまな出会いの場の創出拡大を図る。」に修正します。

基本目標	No.	委員の意見 (要旨)	素案の関係部分
4 時代に合ったまちをつくる	1	骨子案の基本目標4の「時代に合ったまちをつくる」には、人口減少を踏まえた施策が大項目のEしか見当たらないような気がする。今後、さらに人口減少が続き税収が減少することを踏まえた上で施策を講じていく必要があると思う。	24ページ 基本目標4の「時代に合ったまちをつくる」においては、市街地近隣や中山間地域等で地域コミュニティの維持を図るための小さな拠点づくりや、都市機能のコンパクト化、地域課題を地域で協力し解決していくための地域運営組織の体制づくり支援など、少子高齢化・人口減少に対応した持続可能なまちづくりに向け取り組んでいくこととしており、限られた財源の中で選択と集中により、効果的な事業の実施に努めてまいります。
	2	人間は何故その場所に残るのかということを見ると、「土地」があるからだと思う。できるだけ若い年齢で土地を所有し、その土地に思い入れを持ってもらうようなシステムがあればいいと思う。	24ページ 大項目アの①「秩序ある土地利用の促進による定住人口の拡大」において、秩序ある土地利用を図りながら生活サービスの維持・確保に取り組み、将来にわたって集落生活圏の維持に努めることとしております。 土地利用の促進を図るため、庁内に研究会を立ち上げており、土地利用に関する現状分析と要因を踏まえ、有効な土地利用策について研究してまいりたいと思います。
	3	高齢者へのパス券発行やコミュニティバス運行と支援策。(既存バス運行の考慮)	25ページ 大項目アの②「コンパクト・プラス・ネットワークの形成」において、公共交通機関の空白地域との交通ネットワーク確保のため、必要に応じて乗合タクシーの導入を図っていくこととしております。 なお、高齢者へのパス券発行については、居住地域ごとに利用できる公共交通機関に差があるため、それぞれの地理的要件に応じた支援策等について、近隣自治体の情報を収集しながら研究していきたいと考えております。 また、コミュニティバスの運行については、本市の現況に合った高齢者の移動手段として有効なものになるのか研究していきたいと思います。
	4	交通に関しては国の「Maas (マース) ※」という考え方を基に整理していく必要があるのではないかと思います。 ※Mobility as a Service”の略。出発地から目的地までの移動ニーズに対して最適な移動手段をシームレスに一つのアプリで提供するなど、移動を単なる手段としてではなく、利用者にとっての一元的なサービスとして捉える概念。(国土交通省ホームページより)	25ページ 大項目アの②「コンパクト・プラス・ネットワークの形成」において、都市機能のコンパクト化及び公共交通機関については、住民のニーズに合った路線再構築の検討を進め、利用促進につなげるとともに、公共交通機関の空白地域との交通ネットワーク確保のため、必要に応じて乗合タクシーの導入を図っていくこととしており、国の「Maas」という考え方については、今後の研究課題とさせていただきます。

基本 目標	No.	委員の意見 (要旨)	素案の関係部分
4 時代に合ったまちをつくる	5	骨子案の施策の大項目イの①「中心市街地の活性化（賑わうまちづくり）」について、本文の表現が中心市街地の活性化策について「検討する」となっているが、5年間の計画であるため前向きな表現に修正してはどうか。	25ページ 大項目イの①「中心市街地の活性化（賑わうまちづくり）」について、ご指摘を踏まえ本文を修正します。
	6	空き家活用については、悉皆調査と、希望者へ売買、相続、賃借契約等がスムーズに移行できるように簡素化されれば移住者も増える。 この財産譲渡、相続権利者など手続き等の法的運用の改正、問題提起。	29ページ 大項目エの①「土地や空き家等の利活用促進」において、利活用可能な空き家の改修等の支援や、「諫早市空き家バンク」により移住希望者及び空き家所有者に対する情報提供を図り、空き家の利活用促進につなげてまいります。 なお、平成27年度から平成28年度にかけて市内空家の現状を調査しており、諫早市空家等対策計画に基づき、空家の「発生予防」、「利活用」、「維持管理」、「解体・除却」を基本行動として対策を進めているところです。
	7	最近、地域のコミュニティーの低下が問題であり、自助、共助の精神を育て、地域を家族として捉える。	31ページ 大項目カの①「地域に対する誇りや愛着を高めるための地域づくり活動の促進」において、市民が本市に住み続けたいと思う地域づくりのため、地域の活性化や課題解決に寄与する市民の自主的な活動を支援するとともに、長期的な視点から地域の課題を市民自らが解決しながら、まちづくりに取り組む「地域運営組織」の体制づくり支援について盛り込むこととしております。
	8	諫早市役所内でプロジェクトを立ち上げて、各地域や各階層での盛り上げ団体の設立を促す。例えば、老人同士の見回り隊など。	
	9	地域活性化対策で商店がなければ物々交換の場を作る。曜日を決めて朝市などの開催。	
	10	地元伝統芸能の存続と継承、そこに地域と世代間の仲間意識と絆が生まれる。	31ページ 大項目カの①「地域に対する誇りや愛着を高めるための地域づくり活動の促進」において、市民が本市に住み続けたいと思う地域づくりのため、地域の活性化や課題解決に寄与する市民の自主的な活動を支援することについて盛り込むこととしております。 なお、「地域づくり協働事業」により伝統芸能の継承活動への支援を行っているところです。